

9月1日 「防災の日」 8月30日～9月5日 「防災週間」

自 助 ・ 共 助 ・ 公 助 の 連 携

●自助とは

「自らの安全は、自らが守る」これが防災の基本です。自宅を安全な空間にすることも、自分にしかできないことです。

地震の揺れの中では、誰もが自分の身を守ることしかできません。揺れがおさまったとき、自分の目の前にある火災を最も早く消すことができるのは自分です。けがをした家族の出血を最も早く止血できるのは自分です。

こうした、自分の手で自分・家族・財産を守る備えと行動を、自助と言います。

●共助とは

「わがまちは、わが手で守る」これが地域を守る最も効果的な方法です。そして、地域を守ることは、自分を守ることです。

救出活動も消火活動も、早く始めるほど、そして、多くの人に参加するほど、被害を小さく抑えられます。災害時に円滑に協力するためには、普段からの交流が大きな力になります。

こうした、近隣の皆さんと協力して地域を守る備えと行動を、共助と言います。

●公助とは

役場を始め、警察・消防・県・国といった行政機関、ライフライン各社を始めとする公共企業、こうした機関の応急対策活動を、公助と言います。

役場はもちろん、各機関とも、災害の発生からできるだけ早く、すべての能力を活用して応急対策を行います。

自分を中心に考えると、災害の直後、自分を守るのは、自助の力です。

自分ひとりでは対応できない状況になったとき、頼ることができるのは、共助です。それは同時に、自分が可能ならば共助に参加する意識が前提となります。そして、公助とともに、状況を安定させ、復旧・復興へとつながります。

こうした連携が、災害による被害を最小限に抑え、早期に復旧・復興するために必要です。

問合せ 総務課企画政策防災担当

☎62-1231

～体験しませんか 災害の疑似体験を～

いつどこで起きるかわからない地震。大地震がある日突然起きた場合、私たちは慌ててしまい、自分の身を守ることがおろそかになってしまいがちです。「埼玉県防災学習センター」での疑似体験で災害に備えましょう。

館内では、4つの災害体験室（消火体験室・暴風雨体験室・地震体験室・煙体験室）で疑似体験をすることができます。

○利用案内

- ・利用時間 午前9時～午後4時30分
- ・入館料 無料
- ・休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始



問合せ 埼玉県防災学習センター（鴻巣市）

☎048-549-2313